

平成 29 年度

## 第 1 回

# 亀山市立図書館整備推進委員会会議録

## 平成29年度 第1回亀山市立図書館整備推進委員会会議録

日時 平成29年12月15日（金）午後2時開会

場所 亀山市役所 本庁舎3階 大会議室

出席者 服部教育長、横山委員、川口委員、豊田委員、若菜委員、鈴木委員、片岡委員、桑名委員、川辺委員、栗本委員、山本委員、上田委員、坂口委員、佐久間委員、松本委員、嶋村委員

欠席者 中井委員、松本委員、亀淵委員

事務局 亀山市教育委員会生涯学習室 亀山室長、小坂、安藤  
亀山市立図書館 井上館長、若林  
㈱東畑建築事務所名古屋事務所 高木設計室長、柱主任技師

### 傍聴の承認

【教育長】 傍聴者について承認いただけるか。  
【一同】 異議なし。  
【教育長】 傍聴を認める。

### ■開会

【事務局】 第1回亀山市立図書館整備推進委員会を開催する。配布済の亀山市立図書館整備推進委員会要綱に則り開催する。

### 1. 委員の委嘱

<教育長より各委員に委嘱状を交付>

### 2. 委員自己紹介

【横山委員】 滋賀大学教授。地方自治論と社会教育論の両面から見ていく。

【豊田委員】	社会教育委員。
【若菜委員】	亀山市PTA 連合会会長。
【鈴木委員】	亀山市地域まちづくり協議会代表。
【片岡委員】	絵本と童話の会所属。親子読書、子どもの絵本の観点から議論 させていただきたい。
【桑名委員】	亀山駅前再開発協議会会長。地元代表として参加。
【川辺委員】	元中学校教員。現状の図書館をよりよくするとともに、新しい 図書館は歴史やこれまでの歩みを活かしたものにしていきたい。
【栗本委員】	図書館を利用する立場で意見していきたい。
【川口委員】	学校図書館活用アドバイザー。学校図書館、児童・生徒との関 わりについて意見していきたい。
【山本委員】	亀山市企画総務部長
【上田委員】	亀山市財務部長
【坂口委員】	亀山市市民文化部長
【佐久間委員】	亀山市健康福祉部長
【大澤委員】	亀山市教育委員会教育次長

### 3. 教育長あいさつ

【教育長】	<p>現状の図書館の課題の改善を検討する中で、駅前再開発におけるにぎわいの創出のため、施設の一部に公共施設を入れることができな いかを検討し、図書館の拡充移転ということで基本構想を作成した。駐 車場不足や開架書庫の狭さ、利用者が市民の二割にとどまっているな どの課題を解決するため、駅前への移転だけでなく、まちづくりやに ぎわい・学びの拠点として、市民の交流の場の創出に寄与したいと考 えている。</p> <p>設計業務もこれから進むが、再開発と図書館の設計業務が別々で 進むのはよくないと考え、来春までに基本計画をとりまとめた いと考えている。</p> <p>4 か月の中で4回の委員会を予定しているが、積極的なご発言 をお願いしたい。</p>
-------	---

### 4. 委員長、副委員長の選任について

【事務局】	委員の過半数の出席により、本委員会は成立する。
【事務局】	委員長が決まるまでの間、教育長を仮議長として進行させてい ただく。
【一同】	異議なし。
【教育長】	委員長、副委員長の選出を行う。委員の互選によるが、推薦、

立候補がない場合、事務局案を提示させていただく。

【事務局】 横山委員に委員長を、中井委員に副委員長をお願いしたい。尚、中井委員には了解を得ている。

【一同】 異議なし。

【教育長】 事務局案を採用する。進行を横山委員長に交代する。

【横山委員長】 多くの自治体の図書館整備に関わってきたが、図書館は一度できたら数十年後世に引き継がれる施設である。多様な意見はあると思うが、なるべく汲み上げ、図書館のあり方を決定していきたい。

## 5. 報告事項

### (1) 「亀山市立図書館整備基本構想」について

＜事務局より説明＞

【川辺委員】 構想自体は魅力的だが、完成までに今の図書館をどう変えるかも重要で、今のユーザーも含めてどうつなげていくかが見えない。どう考えているのか。ワークショップでも今ある図書館をどうしていくかも含めて考えていくことが重要ではないか。

【事務局】 当然のことと考えている。いろいろなご意見をうかがう中で、今の図書館でできることも含めて、新しい図書館にどう移行できるかが重要と考えている。

### (2) 「亀山市立図書館整備基本計画」策定スケジュールについて

＜事務局より説明＞

【一同】 意見なし。

【横山委員長】 ワークショップでの意見も報告いただき、基本計画を進めていただきたい。

### (3) 視察図書館の報告について

＜事務局より説明＞

【横山委員長】 教育長、教育次長から視察に行かれてよいと思われる図書館があれば教えていただきたい。

【教育長】 玉野市立図書館：人口が6万人で亀山市に近い。中心市街地の活性化のために、商業施設の2階に入っている。公民館との複合施設であり、ホール、調理室、会議室などの諸室が区分なく融合して、ガラス張りでの活動が見える状態になっている。学び、読書、地域活動などが違和感なく溶け込んでいる。

武蔵野プレイス：人口もかなり多いが、複数の大学が近くにあり、若者支援を重視した複合施設である。卓球場やスタジオなど、

都心の生活スタイルに応じた施設がある。

荒川区中央図書館：子育て世代を重視し、保育士のいる託児所や乳幼児連れでも楽しめるプレイルームなどがある。子ども、若者をターゲットにしつつ、各階で個性を出した空間構成となっている。多世代が調べたり学習したりできるスペースが各所にちりばめられていて、吹き抜けを介して明るい空間となっている。

塩尻市市民交流センター：人口規模が近い。市長の思いが強く、予算もかけた生涯学習施設と融合した図書館となっている。各コーナーが充実している。条件付きで飲食可などの運用をされている。

【大澤委員】

武蔵野プレイス：駅前立地で若い世代の利用が多い。敷地が狭く、7層になっており、1フロアが亀山市の構成と近い。

荒川区中央図書館：明るくゆったりしているのが第一印象。下町で高齢の方が多い。

塩尻市市民交流センター：市街地再開発事業で建設されたビルの中に入っている。現状の亀山の図書館と比べて解放感があり、居心地のよい空間が整備されており、多世代の学びの場、居場所として機能していた。

【横山委員長】

最近の図書館の特徴としては、複合化が進んでいること、内部空間の可変性があること、みんなが通える立地であることが挙げられる。

#### (4) 図書館市民ワークショップの実施報告について

<事務局より説明>

【若菜委員】

市民ワークショップをきっかけに将来について考えるきっかけになったと感じた。参加者の方は複合的な施設をイメージされているように思えた。施設規模が限られると思うが、継続しているような場所で開催していただきたい。

## 6. 協議事項

### (1) 亀山市立図書館整備にかかる附帯機能について

<事務局より説明>

【横山委員長】

資料5-1 空白の部分について、ご意見をいただきたい。資料5-2については、附帯機能の方向性をまとめられている。①子育て支援、②親子の居場所、③市民交流・活動展示、地域の情報発信という3つの方針が挙げられている。

【片岡委員】

他の図書館で、本に加えて人を貸し出す試みをされている。人材登録をして、掲示をし、図書館内で30分ほど話を聞くなどの

活動をされている。

【横山委員長】

ソフト面の事業の話だと思うが、空間としてこういった場所があるとよいというものはあるか。

【片岡委員】

個室があるといい。

【栗本委員】

幼い子どもや高齢者は利用が多いが、若い父親世代が来るような図書館になるとよい。

【横山委員長】

一般的に勤労世代の利用者は少ない。

【鈴木委員】

図書館は静かなので、もう少しにぎやかにしてもよい場所があってもよいのでは。長居をすると喉が渴くので、飲食できるスペースなどもあるとよい。新しい私立学校の図書館には発表の場やITを活用した設備などがあり、地域利用もできるようになっている。

現状の図書館ではスペースが限られているが、そこでの活動も含めて考えていければよい。図書館での人的サポート（調べた書籍がすぐに出てくる）などもあるとよい。

【横山委員長】

最近の図書館では交流スペースと静寂の空間を分けてつくることが多くなっている。

【桑名委員】

いろいろな意見があるが、できることとできないことがある。駐車場も普段はがらがるのにピーク時を想定して確保する必要はあるのか。また、ハードだけでなく、「おもてなし」の視点が重要と思う。障がい者の方への配慮もその程度に応じた配慮が必要である。

現状の駅前ロータリーは朝は送迎の車が多いため、高齢者や子どもなどの歩行者への安全配慮も重要である。地域としても協力していきたい。

【横山委員長】

コミュニティバスなど、町全体として考えていく必要がある。駅前立地ということは「おもてなし」空間になりうる。亀山市の魅力を発信できる場となってほしい。

また、学校図書館との連携という視点ではどうか。

【川口委員】

現状の市立図書館は、亀山西小や亀山中からは利用者が多いが、他の学校の子どもはあまり利用していない。各学校で学校図書館の利用サポートをしているが、重要なのは蔵書よりもそこにいる人である。学校司書は近隣市町よりも手厚い体制だが、それでも週2日では足りない。市立図書館にも正規の職員としての司書配置を望む。学校図書館と図書館との書籍の貸し借りをやっているが、なかなかうまくいっていない。

新しい図書館に学校図書館支援室（センター）ができ、チームとして体制が組めるともっと学校図書館との連携がうまく進み、子どもの利用が増え、蔵書を活用できると思う。本来の図書館

の機能の重要性を大切にしたいと思う。学校司書の方にもワークショップなどで意見を出していただきたいと思う。

【横山委員長】

安城市では上記のような施策が進められている。

【豊田委員】

附帯施設についてもこの委員会で議論をするのか。それにより計画が変わると思うが。

【事務局】

附帯施設は図書館を広く活用し、多機能性を持たせるために重要と考えている。資料5-2はその可能性を示しているがこれがすべてではない。ワークショップや委員会で意見をうかがい、可能な限り基本計画に盛り込んでいきたいと考えている。

【豊田委員】

社会教育委員では「子育て支援」に取り組んでいるので、ベビーカーでの利用など、子どもを持つ親への配慮も検討いただきたいと思う。

【川辺委員】

基本構想P14では、図書館機能として3,000㎡と書かれているが、附帯機能はそこに含まれるのか。また、附帯機能を考える上で、既存の公共施設と用途が重複する場合は、その連携や整備方針も含めて考えていく必要があるのではないか。

資料5-2に「行政機能の保存公開施設」とあるが、請求に対してタイムラグなしで公開が可能となればいいと思う。実現が難しいとの表現があるが、鳥羽市では議会図書館と市立図書館の連携事例がある。亀山市でも充実させればいいと思う。

【事務局】

基本構想にある施設機能とは、児童館などを図書館と別に独立した施設をつくるのではなく、そういった機能をもつコーナーやエリアを含めて図書館を考えるとの意である。

【川辺委員】

P14においては、まず必要となるエリアを挙げて、その例として機能を表記した方がわかりやすいと思う。

【事務局】

行政機能の保存公開については重要な課題と認識しているが、まずは庁内での調整が必要であり実現できるとの判断が即答できないとの意で実現が難しいと記載している。

【横山委員長】

亀山市の公文書のルールにまで及ぶ話になる。他分野にも波及するが、是非検討をお願いしたい。

【若菜委員】

どういった図書館にすべきかという大きな方向性を定めた後、細かな部分を検討すべきでは。行くのが楽しい図書館、という前提があるとよい。私の子どもは図書館で本を多く借り、国語が得意になった。図書館で本を借りるきっかけが生まれる、親子で一緒に行ける図書館になるといいと思う。

【教育長】

各エリア面積の想定は決定したものではない。P15の必置の施設が「附帯施設」であり、P16の「期待できる施設」は「附帯機能・コーナー」という位置づけと見ていただきたい。

あくまで図書館として市が借りる部分での附帯機能を検討してい

く。

【横山委員長】 次回の委員会では整備計画の原案が出てくるのではないか。

## (2) 平成 29 年度図書館市民ワークショップの実施について

＜事務局、東畑建築事務所より説明＞

【川辺委員】 ワークショップへの参加条件が原則 4 回共参加とあるが、予定が合わない方もいるので、よりオープンにして参加しやすいようにしてほしい。現図書館の利用者に対しても、アンケートだけではなく意見を聞く場も設けてほしい。

基本構想のアンケートで欠けているのは、職員の課題に触れられていないことである。また、実際に利用者でないと、司書やスタッフのあり方についての議論が深まらないのではないか。他の図書館の司書や市民団体の方に講演いただく機会もつくってほしい。

【若菜委員】 ワークショップへの参加条件が原則 4 回共参加とあるが、参加しづらい方もおられるので、参加しやすいようにして配慮ほしい。

【事務局】 4 回原則参加としているのは、この 4 回で終わりではなく、開館後を見据えて継続した議論をし、一緒に計画を進めていただける方をイメージしているが、柔軟に対応していきたい。

来館者への意見については、ワークショップのテーマに沿って意見を集める取り組みを進めている。

【井上図書館長】 意見箱をロビーや児童コーナーに設置している。いただいた意見は掲示等により公開することを検討している。

【横山委員長】 運営体制について今回の整備計画でどこまで触れられるか。望ましい運営体制などまでは触れられるかもしれない。

## 7. その他

【事務局】 次回委員会は平成 30 年 2 月 1 日（木） 14：00～大会議室にて開催する。また、意見、質問があれば、生涯学習室までファクスまたはメールで提出されたい。その意見等とその回答は、次回委員会においてご報告する。

閉 会

午後 4 時 10 分

以 上